



内閣府認定特区高等学校
明蓬館高等学校
Meihokan High School

校章のコンセプト info@at-mhk.jp(メールはこちらどうぞ)

「@」をモチーフに図案化。伸びゆく新芽と中心に配した笑顔は、卒業する頃には自分の立ち位置を見つけ強く明るく人間になってほしいという学校の願いを表現しています

〔川崎町本校〕〒827-0001 福岡県川崎町大字安真木 1373 番地
TEL 0947-49-5111 / FAX 0947-49-5112
〔品川キャンパス/事務局〕〒141-0001 東京都品川区北品川 5-12-4
TEL 03-3449-7904 / FAX 03-5423-2813
編集 成田 滋

めいほうかん高校便り

〜品川の風〜2011年11月NO.6

■2011 公開フォーラムと講演会「教育と心理的なニーズのある生徒の進路の選択」～進路の選択に備えた一貫性のある指導を目指すには～が盛況裏に終わりました。御協力ありがとうございます。

講師：カニングハム久子先生

実践報告者

武藤富子氏 発達障がい児保護者
坪井久美子氏 特定非営利活動法人パルレ理事長
野口美加子氏 「マイ・ライフ・ブック：私の生活記録」 翻訳者
小賀友子氏 明蓬館高等学校副校長
中島規至氏 同校 特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー



■学びにくさを持つ子供たちの “中学・高校選び” を考えるシンポジウム

自閉圏にいる発達障害生徒の保護者のための緊急シンポジウムを開催することになりました。中学・高校進学を選択肢を考える、というテーマです。

日時 11月3日(祝) 13:00 開場 13:30 開始 16:00 終了

場所 品川区立中小企業センター 大会議室 品川区西品川 1-28-3

TEL.03-3787-3041

JR 線・東急線・りんかい線「大井町」駅徒歩 10 分

参加費 1,000 円

定員 96 名 (先着順)

対象者 特別支援、個別指導を必要とする生徒の保護者

基調講演 本田秀夫氏 (ネスト・ジャパン代表; 発達精神科医師)。

主催 東京・特別支援連携機構・感動 KANDO

共催 NPO 日本ホームスクール支援協会/NPO 法人 パルレ

■今月の珈琲「悩みとわたしたち」 校長 成田 滋

誰もが日々、いろんな場面に出くわしながら生活しています。たいていは順調にいくような毎日や、精神的にゆったりしていることもあれば、ささいなことで笑い泣き、怒り、苦痛などに会ったり、時に悩み悲しむこともあります。エイブラハム・マズローという心理学者がいて、彼は人の悩める状態をみて、「あんまり悩みを抱え込んで、自分は駄目だ、などのように否定的に思わなくても良い、」と言っています。悩みや悲しみは、「健康なあかし」として考えたらどうでしょう、と言うのです。このことをもう少し説明しましょう。

人が悩む状態は、健康な人が健康へ向かって成長しているかぎり、誰にも見られるということです。「闘争(とうそう)、葛藤(かつとう)、罪悪(ざいあく)、やましい心、不安、抑うつ、欲求不満、緊張(きんちょう)、羞恥(しゅうち)、自罰(じばく)、劣等感(れつとうかん)、失敗感、無力感(むりょくかん)」などの精神的な苦しみ

ですが、”これらがなくて、一人人が成長したり、生活を充実することができるのでしょうか？”とマズローは問います。なかなか厳しい指摘ですね。たいていの人は、こうした苦しみ体験を避けようしたり、目をそむけるのが普通です。ですが、生きているわたしたちには、必ず試練はやってきます。その最も大きい試練は「死」ということではないでしょうか。

人が必ず体験する試練にどのように向き合うかによって、人の生き方は違ってきます。さきほどのマズローは、こうした試練に向き合うとき、人の成長の有りようを「欲求のレベル」という言葉でわかりやすく語ります。(マズローの書いた「Motivation and Personality(人の欲求と人格)」という本を参考にしました。)

■品川の今昔 その6 六郷一里塚

かつて京急空港線が国道 15 号をさえぎっていました。正月の大学駅伝でチームが足止めをくらったこともあるそうです。昨年から高架となりました。この近くに六郷一里塚があったと記述されています。大田区六郷の総鎮守といわれている六郷神社の参道脇にあったようです。「郷」とは村の下に置かれた地域の呼び名のことで、「郷に入るとは郷に従え」という諺の意味が伝わりますね。

六郷は東海道が多摩川を横切る要地だったようです。六郷の渡しもありました。今は国道 15 号の六郷橋となっています。六郷一里塚は丁度江戸日本橋より四里、16 キロのところでした。当時は必ず一里塚が建てられ、旅人の道しるべとなっていました。「江戸名所図会」によると六郷一里塚の高札があったとあります。江戸名所図会は、日本橋から始まり、江戸の町々に関して名前の由来や名所案内を記しています。



■小賀友子副校長から

新米の季節です。6月、マガモとあひるのかけ合わせである合鴨君

105羽の誕生に生徒達と立ち会いました。その後田んぼで農薬をまく代わりに合鴨君達が一生懸命害虫や雑草を食べている姿をいつも応援していました。10月、本校周辺は秋風と共に黄金の稲穂が頭を垂れ広大なキャンパスが秋一色に塗り替えられます。そして稲刈り。昔ながらの陰干し米は自然乾燥させながら太陽の恵みをたっぷり浴びて甘く美味しくなっています。農村の原風景を思い出させます。



■スクーリングのアルバム

9月の下旬から10月中旬にかけて、福岡県の川崎町にある本校にて明蓬館高校生徒とレコールバンタン生徒とスクーリングを楽しみました。地元ラピュタの皆さんから料理を教わり、生徒はお菓子作りのコンテストにも挑戦しました。グループ毎にお菓子のテーマを自分たちで考え、素材を選びながら上手に仕上げていきました。



編集後記

アメリカの高校生は自由な服装、髪型、歩き方まで個性があります。体格が良いので健康的な雰囲気が充満しています。人種はとりどりです。教室の風景も元気が感じられます。生徒は毎時間、教科担当の教師の部屋で授業を受けます。廊下は生徒で一杯となります。管理職の教師は携帯を持ちながら忙しそうに巡視しています。日本では、生徒のいる教室に教師がでかけるのとは大違いです。高校の教科書は分厚く、生徒はそれを抱えて移動するのを見ると「大変だな、..」と感じます。自分のロッカーが廊下にずらりと並んでいます。授業は誠に活発です。教師と生徒が対話しながら授業を進めるのが一般的です。学校によっては、パトロールカーが校内に停まっています。そして警官が校内を巡視するのです。一度、警官が学校内のパソコンからメールを出しているのを見かけたことがあります。「なんで部外者がそんなことができるのか、..」これも文化なのかと納得するほかありません。